



表紙：静岡県蓬萊橋 (提供：鈴木宏記)

- 071 **巻頭言** 文化財を未来へつなぐ  
本田光子
- 075 **論説** 学内 COE とその意義 ～金沢大学の事例から～  
松本邦夫

078 **特集** 文化財を未来につなぐ  
——修復・保存・調査する“カガク”

文化財はいにしえから人々が営々と紡いできた文化活動の結晶であり、唯一無二の国民の財産である。従来多様な文化財の修復・保存・調査分析は容易ではなかったが、近年、新たな材料やプロセス、分析技術の開発がこれらを可能にしつつある。今回、文化財の修復・保存・調査に関わる“カガク（科学/化学）”の力の進展と成果について、第一線の研究者から紹介をいただくとともに、歴史上のミステリー解明につながる新発見の事例も紹介していきたい。  
〔和田宏明・砂田祐輔・畑中美穂〕

- 1 文化財の保存，修復，調査の歴史と科学  
朽津信明
- 2 文化財のクリーニングに関する近年の動向  
——科学的見地の導入による新技術の紹介  
早川典子
- 3 レオナルド・フジタの白の秘密  
——スペクトルカメラとコンピュータによる蛍光発光成分の分離・解析  
石原 慎
- 4 文化財修理に用いるナノセルロース  
貴田啓子
- 5 富雄丸山古墳出土蛇行剣の応急処置に活かされた科学  
の力  
奥山誠義
- 6 キトラ古墳壁画の泥に覆われた部分の分析調査  
犬塚将英
- 7 科学調査による油彩画の謎解き  
高嶋美穂
- 8 文化財の微生物劣化を防ぐ  
——古墳環境における微生物制御の現状と課題  
佐藤嘉則

- 104 **Gallery** 受託製造企業の製造技術

2024 年度化工誌編集委員会

委員長：西山 繁 理事：関根千津

幹事委員：菅 孝剛 / 長門石 暁 / 緒明佑哉 / 砂田祐輔 / 三宅亮介 / 朝倉則行 / 山本崇史 / 和田宏明 / 中村将志 / 岡本敏宏 / 岡添 隆 / 丸山由貴 / 栗山敬祐 / 矢島知子

委員：伊掛浩輝 / 畑中美穂 / 山本隆文 / 小林直樹 / 清水章弘 / 守谷 誠 / 兵藤憲吾 / 深澤倫子 / 須貝 威

監修：植村 榮 / 岩本振武

★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン：(株) マツダオフィス

115

**Division Topics**

- 1 分析化学 迅速簡便な生態環境評価を可能とする環境 DNA 検出センサアレイ
- 2 ナノテク・材料化学 カーボンナノチューブの単一カイラリティ合成
- 3 ナノテク・材料化学 優れた CISS 特性を示すキラル二面性  $\pi$  共役ポリマー
- 4 資源・エネルギー・地球化学・核化学・放射化学 海洋の酸性化が温室効果気体放出に及ぼす影響

117

**BCSJ/Chem Lett グラフィカルアブストラクト**

120

**化学会発**

企業現場見学会 2024 開催報告 産学交流委員会人材交流小委員会

123

**支部だより**

ISFM2024 東北支部

124

**部会だより**

若手ワーキンググループ コロイドおよび界面化学部会

125

**IUPAC 通信**

第 1 回 日本と IUPAC

127

**CCI サロン**

化学よもやま話 植村 榮

128

**編集者の独り言**

129

**会告** (次号予告)

130

**お知らせ**

**行事一覧**

**講習会・講演会**

**研究発表会——発表募集**

138

**掲示板**

139

**求人・求職**

次頁

**広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)**